

笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ 帯山

熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

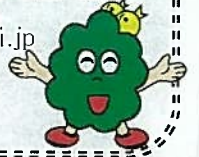
第26号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

平成26年1月

E-mail:sasaeriaobiyama @kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/obiyama /



謹賀新年



さ:更なるご支援を頂きまして

さ:最善を尽くし

え:笑顔でもって

り:理性と

あ:愛で

お:帯山圏域の方々に

び:微力ながらも

や:やる気一杯で

ま:邁進してまいります

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠に有難うございました。

昨年は「認知症事例検討会」をはじめ、新たに「地域ケア(個別)会議」や「在宅療養医療連携フォーラム」を開催することが出来ました。今年は、「医療と介護の連携」、「認知症の方への支援(ご家族含む)」、「地域ケア会議」や「見守りを含む生活支援」、「介護予防」への取り組みを、さらに充実させていきたいと思ひます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

センター長 那須 久史

在宅療養医療連携フォーラム

11月17日(日)熊本学園大学14号館にて「在宅療養医療連携フォーラム」を開催致しました。当日は雨天の中、医療関係者や民生委員さん、行政、居宅、サービス事業者など約100名程の参加がありました。フォーラムは2部形式となっており、第1部は、福岡で高齢者や末期患者の在宅ケアに取り組まれている、**医療法人にのさかクリニック院長 二ノ坂 保喜氏**をお招きし「**外来診療から在宅ケア・看取りまで**」をテーマに、医療が「いのち」にどう寄り添うのか。医療が地域社会にどう関わるのか。その中で生まれてきた活動などをお話頂きました。他機関・多職種との連携、そして何より患者さんやご家族をひとつの単位と捉えチームで支えるということ、その人やご家族にとって望ましい生活はどのようなものかを考えることが必要だと感じました。

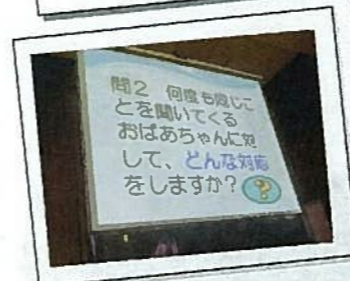
第2部は、「**地域を基盤とした医療と医療、医療と介護の連携を考える**」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターを**熊本学園大学社会福祉学部 准教授 黒木邦弘氏**にお願いし、コメンテーターに**佐田外科内科医院 院長 佐田英信氏**、パネリストには、**おびやま在宅クリニック 院長 宮崎久義氏**、**くまもと森都総合病院 副院長 城野昌義氏**、**よぎ歯科医院 院長 與儀実彦氏**、**くまもと青明病院 院長 上田啓司氏**に、それぞれの立場からお話を頂きました。ささえりあ帯山圏域にも、在宅医療を担って下さる先生方がいらっしゃる事が分かり安心感を持ちました。



H25. 12. 17



帯山小学校4年生!



H25. 12. 18



帯山西小学校6年生!

12月17日(火)に、帯山小学校にて小学4年生を対象とした認知症キッズサポーター養成講座を行いました。146名の帯山小学校の子ども達は、認知症についてメモを取りながら、一所懸命学んでくれました。認知症予防ゲームにも大きな声と挙手で応え、最後まで講座に集中してくれました。『何度も同じことを言うおばあちゃんに対して、自分だったらどのような対応をとるか?』をテーマにグループワークを行った結果「やさしく、ゆっくりと“宿題やったから大丈夫だよ”と声をかける」との意見を出してくれました。認知症への理解が、更に深まってくれたと思います。

12月18日(水)の5、6時間目に帯山西小学校の6年生・120名あまりを対象に、認知症キッズサポーター養成講座を行いました。昨年同様、当包括支援センター 認知症地域支援推進員の牛島を講師とし、認知症について講話をさせて頂きました。講話の後のグループワークでは、民生委員さんや熊本学園大学の学生さんにグループの中に入って頂き、進行をお願いしました。今回も、生徒たちが積極的に手を挙げ元気に発表してくれる姿に、たくさんのパワーをいただきました。

第2回 地域ケア(個別)会議開催!

前回(第25)号でご紹介しました地域ケア会議の第2回目を、11月25日(月)に対象者の方のかかりつけ医院にて開催致しました。

今回は、ご家族を始め、担当ケアマネジャー、病院師長他スタッフ、薬局薬剤師、民生委員、団地の自治会長、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター連携担当者、包括支援センターが一堂に会して話し合いを行いました。今回も、かかりつけ医と認知症の専門医、ケアマネジャー、薬局薬剤師、加えて地域の方々との情報の共有と連携の重要性を再確認しました。今後もこのような個別会議を通して、高齢者の方々をいつまでも地域社会で支えられる仕組みを作っていきたいと思っております。



10月22日、フォレスト熊本5階にて、**居宅・包括連絡会議**を開催致しました。今回は、圏域内の居宅事業所と合同で事例検討会を開催し、本人と家族の意向が異なる事例に対する介入の方法をグループワーク形式で学びました。



「認知症介護家族のつどい」

10月24日、託麻原コミュニティセンターにて4回目となります「**家族のつどい**」が開催されました。認知症の人と家族の会 熊本県支部 村田氏の司会進行のもと、つどいに参加された介護家族の方からは、介護の悩みや不安、介護体験談などを茶話会形式でお話頂きました。また、村田氏より「家族の行き詰まりが、一番の問題」「なんで自分だけ?」と思うだろうが、こうして話をしてみると自分だけではないという事が分かる」などのお話があり、悩みの共感・共有をする事で、よりよい介護が出来るのではないかと感じました。次回は**1月25日(土)**に開催予定です。お一人で悩まずに、まずは気軽に参加されてみませんか。





すこやかクラブ 忘年会

平成二十五年度の最後の締めくくりにして、十一月二十六日(火)に、フォレスト熊本五階にてすこやかクラブ忘年会が開催されました。今年度は、音楽療法士立山真由美氏をお招きし、昔懐かしの曲を皆さんと歌ったり、演奏したり、踊ったりと、参加者全員で大いに盛り上がりました。

来年度も引き続き楽しい活動を続けていきましょー。

十一月二十日(水)、帯山コミュニティセンターにてエコレシピ講習会が開催されました。この講習会は、帯山校区の高齢者自主グループの誕生になれば・・・と、帯山の食生活改善委員さんと包括とのコラボで企画されました。講習会には、二次予防事業終了生及び帯山校区二町内の方々約二十名程参加され、栄養についてのミニ講座や介護予防体操、エコレシピの試食会などを行いました。



帯山校区 エコレシピ講習会



帯山2・3町内 高齢者の集い

十一月二十八日(木)帯山地域コミュニティセンターにて帯山二・三町内高齢者の集いが開催されました。今回は、フォレスト熊本の音楽療法士 池田憲治氏をお招きし音楽療法を実施して頂きました。地域からは約八十名ほどの参加があり、リズムに合わせた頭の体操や歌に合わせた身体の運動など、様々な音楽療法を皆さんと一緒にを行いました。



託麻原独居高齢者の昼食会

十一月三十一日(木)青年会館にて、託麻原独居高齢者の昼食会が開催されました。まず始めに、一人暮らしの高齢者の方のご紹介があり、民生委員さんによる悪徳商法に関する寸劇やフラダンス、合唱、脳リハビリ、そして美味しいお食事(お弁当)♪さらに、あいこ幼稚園の園児たちによるソーラン節など、様々な催し物を皆さんと一緒に楽しませて頂きました。地域の方々が集まり、話しが出来る『つどいの場』の大切さを改めて感じました。

★編集後記★
明けましておめでとうございます。

昨年未、一歳になる娘の発表会に参加しました。娘と一緒に舞台上上がり「わらべ歌」に参加したものの、久しぶりの舞台上にとっても緊張したうえ、なんと私の隣には二〇代前半のお母さんが・・・娘たちの年齢は一緒ですが、親同士の年齢差に、また違った緊張をしてみました(泣)。そうはいうものの、どのお母さん方も素敵な方ばかり♪年はずれていても学ぶことがたくさんあります。今年も、こんな風に沢山の方々との出会いを楽しみにしております。まだまだ分かりませんが、一つでも多く皆様のお役に立てればと思っています。

今年もどうぞよろしく
お願い致します。
芹川 真寿美